

## 長谷川テル反戦放送の朗読劇再演されるー6/19、大阪堺市

第64回関西エスperant大会の公開プログラムとして採用された日中大阪府連の朗読劇「戦時下反戦放送長谷川テルの生涯と娘暁子」が、6月19日、大阪堺市・泉北ニュータウンにある、泉が丘・ビッグアイ・ホールで再演され、256名の参加者を再び大きな感動で包みこみました。

大会参加のエスperantリストのほか、堺・泉北の新婦人の会、堺退職教職員の会、治安維持法国家賠償同盟堺支部、日中友好協会大阪府連・堺支部と日中友好交流ー堺・美木多連絡会がこの公演のためチラシ・チケットを普及、エスperant大会以外に145名が駆けつけ、成功を支えました。



「モルダウ」を合唱するシーン



熱演いただいた、朗読者のみなさん

<アンケート用紙から>

- \*50代の女性Nさん「感動しました。私たちの住む播但地域でもやってほしいです」。
- \*エスperantリストのHさんは「素晴らしい。エスperant関西大会に深く大きな意義を付与して下さい。ありがとうございます」と感激の面持ち。
- \*ボランティアとともに鑑賞した視覚障害をもつSさんは、「素晴らしい朗読劇でした。テルさんのような方の存在すら知りませんでした。何よりの反戦活動です。会場で本も買いました。拡大読書器やボランティアさんの助けを借りて早速読みます」と感謝の言葉。
- \*Hさん 70代男性「朗読は素晴らしく心に響きました。戦争は市民も兵士も犠牲者です。再び戦争する国につながる安保法制を廃止させたいものです」。
- \*新婦人の会のTさんは「朗読劇は初めてでした。伝わる思い、迫力があつたと思います。日本にこのような女性がいらしたこと、私たちは学び、大切に声を伝え、声をあげたいです」。



上演前に「モルダウ」を練習するみなさん